

# けんそうしんぶん 研創新聞

### 特集記事

## 「清く・尊く・強く・正しく」 人の世のために役立つチームを目指して

平成27年、私達はこの時代、この地に生まれ、育てられ、生かされています。全ては周りの人々との結びつきの賜物です。「地方創生」が必然となりました。自主自立の覚悟です。改めて「憂きこと」の、なほこの上につもれかし、限りある身の力ためさん・熊沢善山を座右の銘としてチャレンジします。



1月10日新年会、共に酒を酌み交わし心新たにチーム結成の使命を誓う。

### 難易度の高い、 改築・改修・修繕工事

当社がお客様から頂く仕事の内容は、年間工事量の3分の2は改築・改修・修繕工事です。小は数千円規模から、大は新築並の数千万円まで多種多様です。何度も申しますが、これらの工事は新築よりも、数



屋根・外観はそのまま、門と塀を新調、重厚感と奥行きが加わりました。

倍も高い設計力、技術・技能力、マネジメント力を要します。最重要となる構造体の適正度・劣化度は勿論、水周りの配管、電気配線は、床・壁・天井に覆われて何も見えません。となると、何を根拠に工事内容を定めるのか？これは、永年の経験と積み、想像力を駆使した適正判断に関わる問題です。お客様にとっては、自分の要望が一体幾らのお



家の配置、生活習慣、家族構成、四季の変化、等々に対する感性と洞察が重要。

### 永愛され100年住む家 変化に対応できる 構造体の重要性

丈夫で100年以上長持ちをする家であっても、そのままの形で50年、100年後に住む人の要望に添えられるかと問われれば、誰が考えても答えは一つです。永く住む為には、当然の如く家族構成・ライフスタイルの変化等に対応できる可変性が重要です。それは、間取りの変化であったり、内外装の取り換えであったり、設備機器の入れ替えであったり、設備が分断され、改装や設備の取り換えが容易であること。その為には、床下や天井上の高さ、壁の幅点検口、水周りの計画配置等々、長期にわたる配慮が必要です。



12月20日48坪の家が上棟。構造と意匠の一体が木造建築文化の原点です。

丈夫であると同時に、多様な変化に対応できる構造体であるべきです。釘・金物や合板に頼る短期的・平面的な構造体でなく、太くて長い梁や柱などで組み合わせた立体構造が望まれます。更に、構造体と内装や設備が分離され、改装や設備の取り換えが容易であること。その為には、床下や天井上の高さ、壁の幅点検口、水周りの計画配置等々、長期にわたる配慮が必要です。

### 日本の家づくりの未来を考える 増田二眞著書より要約 職人文化の再興 Part1

かつての江戸の街はヨーロッパ人の証言によれば、世界中のどこを探してもその例を見出せないほど清潔で美しかった。以後も、日本人は歴史的に物を大切に扱い、活用し、自然の大きな循環とリサイクルを重視してきた。現代は、同じ民族とはとても信じられないほど

の変わりようである。日本民族が使い捨て文化にどっぷりと漬かってしまったのは、昭和40年代からである。底の浅い、表面的な繁栄と引き換えに、多くの貴重なものを失った。その内最も大切なものの一つは、あれほど高い水準を誇っていた、職人技術であり、職人文化である。使い捨て文化は、高度な技術を使って物を造る必要はない。機械設備があり、労働者がいれば、物は生産される。ツリーバイフォー住宅や、輸入住宅などはその典型で、熟達した職人技術が必要としない「ブラック住宅」は建築文化の破壊者である。



株式会社 研創  
〒959-2205 新潟県阿賀野市寺社246  
TEL0250-68-3212・FAX0250-68-5271  
http://www.kenso.info/  
E-mail:info@kenso.info

### 「日本の誇り」 取り戻す大挑戦

明けましてお目出度うございませす。私の年賀状には次の様な文を書きました。

『お陰様で今年も良き初春を迎えられました。今年は七十三才になりますが、私は皆様の良き御縁のお陰で有り難い人生を歩ませて頂いております。しかし、愛する日本の事を考えてみますと、昨年の朝日新聞捏造慰安婦問題の謝罪はありましたが、日本の名譽・誇りは少しも回復されておられません。今年には平和を愛さない諸国民からの守りを固めるべく、憲法前文と第九条改正の運動に向けて力を入れます。御指導の程宜しくお

願います。』私の出した約千通の年賀状、いろんな考え方の者がいる筈ですが、わざわざ電話や葉書で近藤さんの考え方に「賛成だ」「応援する」等の返事が何十人も来ました。何百億円もの売り上げをしている会社の社長の年賀状には「誇り高き日本を作ろう。1、珊瑚ドロボーの中国漁船は撃沈せよ。2、尖閣諸島に自衛隊詰所を設置せよ。3、横田めぐみさんを戦争覚悟で奪いかえせ。4、竹島を奪いかえせ。5、世界No.1の日本原産は即再稼働し企業の燃費を軽減せよ。6、日本よ核を持って一中・韓を黙らせろ。7、反日朝日を叩き潰せ。8、従軍慰安婦、南京虐殺は出鱈目。9、シナに対するODAは即刻や

### 研創の家づくりの特徴 Part63 貴重な縁を大切に、 一生のお付き合い

人の出会いは不思議なもの、異なるもの味なもの。偶然から出会ったこの縁を天の計らい「必要必然」と捉え、永遠の良き友でありたい。私たちとお客様の関係は、一見するとビジネス・商取引ではありませんが、只それだけの一過性のもではないと思います。初めて出会った時は、家という商品はありません。姿・形は何もない、思いの共有と共感から始まります。それから家が出来るまで、場合によっては一年間もお付き合いする事もあります。となると、家が完成

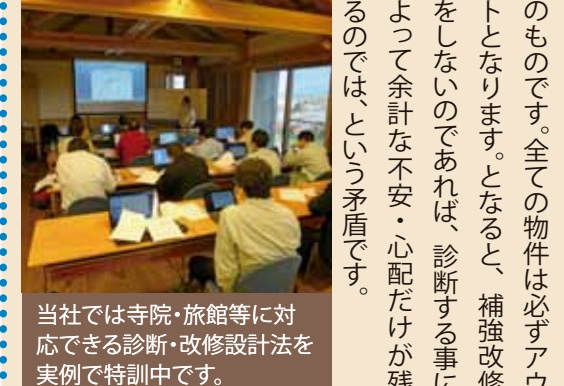
して、「はい、せよならよ」ではなく、この家を介して親類・縁者の関係になったのではないのでしょうか？(いかに日本人的かもしれないが、)。家は一般消費物とは違います。人の心が籠った延々と生き永らえる生きモノです。時には、カゼもひく、ケガもする、重病にもなる。その時の救急対応が必要で、私た



「強く、良く、優しい人間」「お客様の喜びと信頼の追求」「三方よし」を合言葉にプロチームを目指します。

### 日本の木造建築の進化と向上を目指す 真に悩ましい 耐震診断お勧めの現実

阿賀野市でも補助金まで出している。家の耐震診断をお勧めしています。当社も何度かその業務に携わりました。対象とする家は昭和56年以前のもので、全ての物件は必ずアウトとなります。となると、補強改修をしないのであれば、診断する事によって余計な不安・心配だけが残るのでは、という矛盾です。



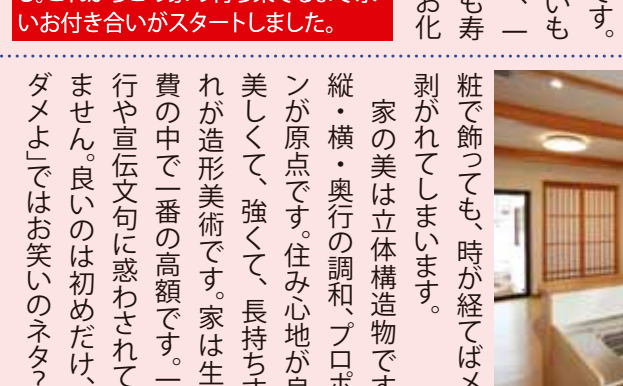
当社では寺院・旅館等に対応できる診断・改修設計法を実例で特訓中です。

### 「幸福な人生」とは何か？ 素心学より

人は誰でも幸せを望むのは自然です。それはお金や地位や名誉であったりします。しかし、これらの欲望は、ことわざ「離るる」を得て蜀(しよく)を望む、で、限度がありません。真の幸福とは、病・煩悶・貧乏でないことです。具体的には①からだ健康である。②経済的に困る事がない。③人間関係が良好である。④精神的に安定している。⑤生きがいをもっている。但し、望むだけではなく、それに向けての努力が伴わなければ実現しません。

### 私たちの顔と心と技のみえる家づくり 家の普遍的価値の 原点を考える

家は人が住むものですが、人の目にもさらされ、目立つものです。当然の如く美しく見栄えの良いものが存在価値を増します。但し、一般の商品との違いは、数十倍も寿命が長い事が特徴です。一時のお化粧で飾っても、時が経てばメッキは剥がれてしまいます。縦・横・奥行の調和、プロポーションが原点です。住み心地が良く、美しく、強く、長持ちする。これが造形美術です。家は生涯の出費の中で一番の高額です。一時の流行や宣伝文句に惑わされてはなりません。良いのは初めだけ、「後はダメよ」ではお笑いのネタ？

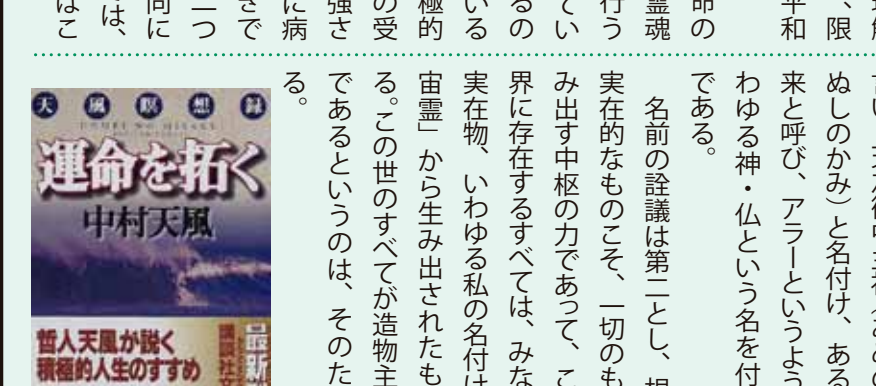


洋風でも和風でも、本質は時を経て普遍的な美しさ・機能を持ち続ける事。

### 天風哲子「心身統一法」 書籍「運命を拓く」から抜粋 「生命の力」

およそ人間として完全な生き方とするには、いかなる場合にも、心を清く、尊く、強く、正しく持たねばならない。その積極的な心を作るためには、第一に何が必要であるかを悟ることにしよう。現代の人間は、肉体が自分であると思っている人が多いのではないが。しかし人間というものは、その正体を突き詰めていくと、何も見えない、また感じない、靈魂という気である。その靈魂が、現象界に命の活動を表現するための道具として、肉体と心が与えられている。いわば画家の持つ鉛筆、大工の持つカンナと同じようなものが、命に対する肉体であり心である。これを正しく理解し、応用した人にも、その命に、限りなく強さと、喜びと、安心と、平和とが与えられるのである。生きていくという不思議な命の力は、肉体にあるのではなく、靈魂という気の中に靈妙な動きを行う力がある。それはあなたがもっている扇風機にそれを回す力があるのではなく、電気がこれを回しているのと同様である。心が肉体に消極的に注がれると、肉体の生きる力の受け入れ態勢が妨げられ、本来の強さを発揮することができない。特に病

の時病を忘れる努力をすべきである。人間の健康も、運命も、心一つの置きどころ。心が積極的方向に動くのと、消極的に動くのでは天地の相違がある。三力哲学ではこ



哲人天風が強く積極的人生的のすすめ。健康と幸福の秘訣をいかに、健康と幸福の秘訣をいかに。